

銃砲火藥類取締法中改正法律案外一件(銃砲火藥類取締法中改正法律案
壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法案)

委員會會議錄(速記)第一回

委員會成立

本委員ハ大正十一年二月二十八日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通
リ選定セラレタリ

吉木 陽君

長谷場 敦君

風間八左衛門君

長田 桃藏君

樋口伊之助君

南里 琢一君

作間 耕逸君

吉川吉郎兵衛君

難波作之進君

三月一日午前十時二十分委員長理事五選ノ爲各委員參集ス
其ノ氏名左ノ如シ

吉木 陽君

風間八左衛門君

長田 桃藏君

年長者樋口伊之助君投票管理者トナル

樋口伊之助君

南里 琢一君

○樋口投票管理者ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣
告ス

○長田委員ハ投票ノ用キス委員長及理事ノ指名ヲ投票管理
者ニ一任スヘシトノ意見ヲ提出ス

○樋口投票管理者ハ長田君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ吉木陽
君ヲ委員長ニ風間八左衛門君ヲ理事ニ指名ス

〔吉木陽君委員長席ニ著ク〕

○吉木委員長ハ就任ノ挨拶ヲ述ヘ散會ヲ宣告ス

午後十時三十分

會議

大正十一年三月八日午後一時五十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 吉木 陽君

理事 風間八左衛門君

山本条太郎君

難波作之進君

樋口伊之助君

南里 琢一君

今八日委員長田桃藏君辭任ニ付其ノ補闕シテ山本条太郎君
ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

內務次官 小橋 一太君

內務書記官 河原田稼吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

銃砲火藥類取締法中改正法律案

壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法案

○吉木委員長 ソレデハ是カラ銃砲火藥類取締法中改正法
律案、並ニ壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法案ノ委員會ノ審議ヲ
開キマス、ソレデハ政府委員ノ御説明ヲ願ヒマス

○小橋政府委員 大體説明申上ゲマスガ、先ヅ前ニ銃砲火
藥類取締法中改正法律案ヲ提出シタル理由ヲ簡單ニ説明シ

テ置キマス、是ハ本會議デ既ニ大體ノ事ハ提案ノ理由ヲ説
明シテアリマシタガ、現行火藥類取締法ハ明治四十三年四
月法律五十三號ノ制定ニ依リマシテ、大正六年ノ七月ニ法
律第二號ヲ以テ鑛山業用ト普通ノ工業用ト
ノ普通火藥類ノ製造ニ付テ、民間ニ製造ヲ爲シ得ル途ヲ開
イタ、其他ニ對シテハ別ニ改正ヲ加ヘナカッタノデアリマ
ス、而シテ現行法ニ依ルト、軍用銃砲ノ製造ハ行政官廳ノ委
託ヲ受ケタル場合、行政官廳ノ許可ヲ受ケ、親規發
明ニ係ル軍用銃砲ヲ一定ノ期間試驗ノ爲製造スル場合ノ外
ハ、民間ニ於テ製造スル事ヲ禁止シテ居リマス、次ニ火藥類
ノ製造ニ付キマシテハ、軍用火藥類ノ製造ニ付キマシテハ、
現行法第二條ニ於テ、行政官廳ノ委託ヲ受ケタル場合、行政
官廳ノ許可ヲ受ケ、軍用火藥類ヲ製造シ又ハ變形若ハ修理ス
ル場合、行政官廳ノ許可ヲ受ケ、新規發明ニ係ル火藥類ヲ一
定ノ期間試驗ノ爲製造スル場合、行政官廳ノ許可ヲ受ケ、其
委託額以上ノ同種類ノ軍用火藥類ヲ製造スル事ヲ得、此四
ツノ場合ノ外軍用火藥類ヲ營業トシテ製造スル事ヲ得、要ス
ルニ軍用火藥類並ニ軍用火藥類ノ製造ハ、民間ニ於テ製造ス
ルコトハ禁止シテ居リマスガ、是ハ專ラ保安上軍事上ノ必要
ニ基イタモノデアラウト思ヒマス、而シテ此法律制定當時
明治初年以來斯ウ云フ嚴重ナル取締ヲ致シテ參タル原
因ハ、民間ニ於ケル工業モ幼稚デ、斯ウ云フ銃砲類、或ハ軍用
火藥類ノ製造ニ適當ナル民間ノ工場ノ無カッタト云フコト
モ、一ツノ原因デアラウト思ヒマス、併ナガラ是ガ今同禁止
ガ解除サレマシタト致シマスレバ、從來ノ如ク陸海軍ノ獨
占事業トシテ置キマスレバ、或ハ一朝有事ノ際ニ軍事ノ關
係ガ圓滑ヲ缺キテ、平時ニ於ケル民間工業ノ發展ヲ十分ナ
ラシムルコトノ出來ナイヤウナ結果ニ陥ラシムルカラ、寧
ロ今日ノヤウナ工業ノ發達狀態ニ鑑ミマシテ、或ル範圍內
ニ於テ民間工場ヲ認メテ、寧ロ民間ノ工業ノ發達ニ俟チ、又
事業ニ際シテハ其工場ヲ利用シテ軍需品等ニ應ズルコトモ
出來ルデアリマセウシ、一面又保安ノ維持ノ上カラ申シモ
シテモ、從來ト違フテ一般警察力モ十分行届イテ居リマスガ
ラ、取締上カラ申シテモ差支ナカラウト思ヒマシテ、軍用銃
砲火藥類及是等ノ製造等モ、或ル程度マデ民間ニ許シ、又火
藥類ニ付テハ、行政官廳ノ許可ヲ受ケズシテ製造シ得ル途ヲ
開キタイ、ソレハ許可ヲ受ケズシテ製造シ得ル場合ハ、從來

ハ此理化學上ノ實驗ノミニ限ッテ居リマシタケレドモ、狩獵
用或ハ射的ノ用發火練習等ノ用途ノ銃砲ノミトシテ火藥類ノ
製造、其使用量等ノ關係カラ致シマシテ、強テ行政官廳ノ許
可ヲ受ケナクテモ、此取締上差支ナカラウト考ヘマスカラ、
其狩獵用等ニ付テ命令ヲ以テ適當ナル條項ヲ定メマシタ、
是等ノ場合ニ於テハ許可ヲ受ケズシテ火藥類ノ製造ヲ爲シ得
ル途ヲ開イタノデ、サウ云フ使用上ニ便宜ヲ與ヘルト云フ
コトガ次ノ件デアリマシテ、以上ノ二ツノ點カラ致シマシ
テ改正ヲシタノデアリマシテ、第二ニ此壓縮瓦斯及液化瓦
斯取締法案ヲ制定スル理由ヲ申上ゲテ置キマス、化學工業
ノ勃興ニ伴ヒマシテ、酸素、水素アンモニア等ノ瓦斯ヲ壓
縮シ又ハ液化シテ、網鐵管ニ充填シタルモノヲ、鐵ノ熔接或
ハ融接用、又ハ冷凍用ニ使用スルモノガ漸々多クナッタノデ
アリマス、殊ニ世界ノ大戰後ニ於テ一層増加ノ傾向ヲ示シ
タノデアリマス、然ルニ之ガ製造、貯藏、運搬等ニ對シマシ
テ、瓦斯ガ爆發シマシテ人命、財産ニ非常ノ被害ヲ及ボシタ
ル實例ガ段々アルノデアリマス、其例ハ後デ必要ナレバ申
上ゲマスガ、サウ云フヤウナ次第デアリマシテ、一面ニハ
此工業モ益々發達ラシ、此壓縮瓦斯、液化瓦斯ヲ使用スル者
ガ漸々増加スル傾向ヲ示シテ居リマスガ故ニ、今日ニ於テ
之ガ取締法ヲ制定シテ、必要ナル處置ヲ執ルコトハ緊要ト
認メマスノデ、本案ヲ提出シタル次第デアリマス、大體ノ事ハ
右ノ通りデ、尙ホ詳細ハ御質問ニ依ッテ御答致シマス

○山本委員 初メニ御述べニナリマシタ銃砲火藥ノ事ニ付
テ御意向ヲ承リタイト思フ、從來火藥ヲ民間デ造ルコトヲ
禁止サレテ居ッタノヲ、民間工業ノ發達ニ鑑ミテ、之ヲ民業
ニ許スト云フノガ御提案ノ趣旨ノヤウニ承リマシタノデア
リマス、左様ナリマスレバ、此只今戴キマシタル之ニ附隨シ
タル火藥取締法其外ノ事モ、關聯シテ、此御規則ガ決マリマ
シタカ存ジマセヌケレドモ、是ハ關聯シテ居ル諸規則ガ、御
改正ニナル意思ガ政府ニ御在リニナリマスガ、如何デスカ
伺ヒス

○原田政府委員 此只今提案致シマシタ法律ノ改正ニ基キ
マシテ、ソレレ、命令ナリ、勅令ナリ、省令ナリ、整理的ニ改
正ヲシテ行カナケレバナラヌト思ヒマスガ、從來ノ取締ニ
ノ大體ノ方針ハ、根本的ニ變ヘヌ積リデアリマス、大體現在
ノ儘デ……

○山本委員 原案ノ大體ニ付テ——事業ノ發達及工業ノ發
展、經濟政策ノ基礎ト云フヤウナ點カラ見マシテ、餘程改良

ヲ要スル點ガアリハセヌカト私ハ考ヘマス、人智ガ勿論幼稚デアリ、取扱ヒノ事モ不熟デアアル時代ニハ、嚴重ニ種々細則ヲ作テ、之ヲ取締ル必要アルト考ヘマスガ、時代ガ斯様ナ時代ニナリマスレバ、斯ノ如キモノハ種々ナ點カラ考察シテ、御規則ヲ御改メニナル必要アルト思ヒマス、而シテ中上ガマスレバ、私共ノ承テ居ル所デモ、陸海軍ノ火藥製造所ノ内務省ノ管轄内ニナテ居ル岩佐、手塚ノ如キソレデアアル、此海陸軍ノ製造所ニ於テハ、内務省ノ御規定ハ殆ド當嵌ラヌ、簡易ナル設備ニ依ッテ御製造ニナテ居ル、然ルニ民間ニ對シテノ御規則ハ極メテ嚴重デアアルガ爲ニ、同一設備ヲ以テシテ、例ヘバ海陸軍ニ於テハ一日ニ千「キロ」ヲ造レモノガ、民間ニ於テハ五百「キロ」シカ製造ガ出來ヌ、若クハ建設ニ對シテモ、百萬圓デ出來ルモノガ民間デハ三百萬圓ヲ要スルト云フ若シ斯ウ云フ事實ガアリトシマスレバ、是ハ産業政策ニ對シテモ、經濟ノ上カラモ甚ダ、不公平ナ事デアリマス、若シ陸海軍ガ監督シテ居ルカラ人命ニ危險ナシ、製造上ニ危險ナシト云フコトノ御解釋デアレバ、ソレハ餘程過去ノ問題デ、今日ハ餘程學術モ進ミ、技術者モアリ、職工モ漸次熟練シタノデ、殊ニ是等ノ技師若クハ職工ノ多クハ、海陸軍カラ採テ來テ經營スルコトハ、先ヅ事ノ順序ノヤウニナテ居リマス、左様ナ次第デアリマスカラ、是ハ産業政策ノ上カラ見テ、餘程御考慮ヲ煩シタイ、殊ニ當局者ハ御承知デアリマセウケレドモ此爆發藥ノ世界ノ營業ノ現狀ハ、多クハ最モ資本ノ豐富ナル大「シンヂゲート」ニ依ッテ左右サレテ居ル狀況デ、日本ハ幸ニシテ官業ノ半面ガアリマス爲ニ、比較的小イノデアリマスガ、之ヲ世界ノ例ニ依ッテ見マスルト、小サイ爆發藥ノ製造所ハ悉ク壓倒サレテ即チ破産ト云フ悲境ニ陥ルコトハ御承ノ通りノ次第デアリマス、此外國ノ輸入品ニ對シテ競争ラシテ國內ノ産業トシ、又日本ノ工業ノ發展トスルノニハ、ドウシテモ爆發藥ガ安ク製造サレテ、競争スルコトガ出來ナケレバ、之ヲ御許シニナッテ、民間ノ事業ヲ御獎勵ニナッテモ、徹底的ニ發達スルコトハ困難デアラウト考ヘル、現在ノ御規則中ニ、例ヘバ火藥ノ製造所ノ距離ノ如キモノ、一ツノ製造場ト隣リノ製造場ノ間隔ニ四十間トカ、五十間トカ、六十間ト云フコトガアリマス、又障壁ノ如キモノ種々ナ制裁ガアリマスガ、之ガ果シテ歐米先進國ニ於テ、是等ノ工業ノ最モ發達シタ時代ニ、種々ナ改良ガ施サレ、種々ナ發明ガ出來、種々ナル設備ノ改善ガ出來タ所ニ、事實當該タ御規則ニナッテ居ルヤ否ヤ、是等ハ戰爭ノ時ノ工業動員ノ精神、此精神ガ若シ用テアルトスレバ、之ガ平生天下泰平ノ時ニ、經濟上引合ッテ行カネバナラヌト云フ此御趣意ト相俟ッテ、初メテ御趣意ガ貫徹スルモノト考ヘルノデアリマス、或ハ此火藥ノ保安上ニ付テノ取締

ハ十分デアリマスガ、ドノ位ノ改正ガ出ルカ知ラスガ、保安上ノ危險ヲ眼目トシテ、他ノモノハ一切——經濟上ノ事モ、工業上ノ事モ無視シタル、マダ日本ガ幼稚デアッタ時分ニ作ラレタモノデアリマスレバ、根本的ノ御改正ノ必要ガアリハシナイカト考ヘル、此製造工業ヲ評シ、且ツ其事業ヲ獎勵サレルト云フ御趣意ノ下カラ、翼クハ内務省ニ於テ、民間ノ人々若クハ大學其他ノ人々、専門技術者ヲ御會合ニナリマシテ、廣ク知識ヲ求メテ此規則ノ御改正ヲ爲サルコトハ、最モ適當ナ事デアリナイカト思ヒマス、是ハ希望デアリマス、只今ノ御説明ヲ承ッテ希望トシテ申上ゲテ置キマス

○小橋政府委員 只今山本君ヨリノ御尋竝ニ御希望ハ、大體御尤ト思ヒマス、今度改正致シマス趣旨モ、山本君ノ趣旨ハ大體合致シテ居ルノデアリマシテ、民間ノ工業ノ發達ノ狀況ニ鑑ミテ、之ヲ民間ノ營業ニ委カセル途ヲ開イタト云フコトハ、是モ民間工業ノ發達ヲ圖リ、又我國ノ産業トノ發達ニ資シタイト云フ考ヲ以テ居リマス點モアリマスノデ、ソレカラ尙ホ一面カラ申シマスルト、先刻説明申上ゲタ様ニ、警察保安上ノ取締モ從來ト違ッテ此方ノ方ノ警察力モ十分充實シタカラシテ其取締上從來ヨリ容易ク行クト云フヤウナ點モアリマスノデ、其雙方ノ點ヨリシテ斯ウ云フ改正ヲ加ヘマス以上、之ニ附帶スル所ノ構造、設備其他ノ改正ハ、相當ニシナケレバナリマセヌガ、保安上差支ノナイ程度ニ於テハ、出來得ル限り此産業上ノ發達、工業ノ發達ニ障害ヲ來サル趣旨ノ下ニ於テ、適當ナル附屬命令ノ改正ヲ加ヘタ方ガ宜カラウト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ其場合ニ於テ、此方面ノ實際ノ知識ヲ有スル人ノ意見ヲ徵スルト云フコトニ付テモ、當局ニ於テモ十分其點ニ於テハ注意シテ、其意見ヲ集ムルコトニハ吝ナラヌ積リデアリマス

○山本委員 能ク御趣意ハ分リマシタカラ、私ノ質問ハ是デ宜シイ

○吉木委員長 他ニ御質疑ハゴザイイマセカ——此壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法案ハ、是カラ貴族院ニ廻サナケレバナラヌノデ、政府當局ノ方デモ急イデ審査シテ吳レト云フ御注文モゴザイマスノデ、成ベク質問ハ今日デ打切ニシタイト思ヒマスノデ、御質問ガゴザイマシタラ此際御質問ヲ願ヒタイ

○樋口委員モウ大抵質問モゴザイマスマイト思ヒマス、ドシナモノデアリマセウカ、憲政會ノ御方モ見エマセヌケレドモ、御質問ガナケレバ此方ニハ何モゴザイマセヌカラ……

〔質問ナシト呼フ者アリ〕

○吉木委員長 質問ハ是デ打切リマシテ、都合ニ依ッテ成ベク明日開會致シマシテ、午後開會致シマシテ、討論修正等ノ御意見ガアリマスレバ願フコトニシテ、今日ハ是デ打切リ

マス、御苦勞様デゴザイマシタ
午後一時十三分散會